

事業シート(平成31年度予算)

事業名	41500 生活環境保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
			項	1	保健衛生費		施策概要	3	公害対策の強化	
			目	5	生活環境費		根拠計画			
担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2172							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な生活環境を確保する。 公害の発生防止、公害が発生した場合の被害の最小化 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 騒音、振動、悪臭苦情に係る立入検査を随時実施する。 騒音の定期観測調査を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	3,980	3,107	3,980			
特定財源						
国費()						
県費(県移譲事務交付金、公害委任事務費)	287	332	290			
その他()						
一般財源	3,693	2,775	3,690			
個票枝番	主な事業内容					
	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発	600	517	600		
	河川水質の定期調査	1,100	1,015	1,100		
	公害防止のための悪臭水質立入調査	770	238	770		
	土壌中放射性物質調査	700	739	700		
	快適環境づくり市民会議	480	202	480		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		4,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,584	4,030	4,030	50	
332	294	294	4	
5,252	3,736	3,736	46	
査定額	説明			
600				
1,150				
770				
700				
480				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(54事案)と騒音の観測調査を実施した。(3か所) 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発を行った。 高山市快適環境づくり市民会議の活動を推進した。(グリーンマーケット(1回)、クリーン作戦(2回)の実施)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。 大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。 長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度予算)

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理	
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。 ・家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方と分別意識の向上を啓発する。 ・ごみ処理券回収奨励金を交付し、ごみの減量化を図る。 ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を適正に実施する。 ・不適正処理(不法投棄・違反ごみ等)対策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	480g		467g
「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じている市民の割合	86.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	302,577	295,291	302,820			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(手数料・諸収入)	20,190	22,583	20,190			
一般財源	282,387	272,708	282,630			
個票枝番	主な事業内容					
	ごみ収集運搬業務	284,570	278,026	284,570		
	ごみ収集パトロール	3,457	3,439	3,700		
	無料可燃ごみ処理券回収報奨金	2,400	2,399	2,400		
	ごみ処理券・ごみカレンダー等の作成	9,950	9,719	9,950		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		303,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
323,615	331,680	331,680	28,860	
20,062	20,190	20,190	0	
303,553	311,490	311,490	28,860	
査定額	説明			
312,880				
3,700				
2,400				
10,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績・評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方と分別の啓発を行った。(啓発用冊子2,000冊作成、広報11回掲載) ・ごみ処理券回収奨励金を交付した。(64件、332,205枚回収) ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施した。(実施日数255日) ・ごみステーションに置かれた違反ごみを回収した。(随時) ・不法投棄対策を実施した。(パトロール延べ54日、通報等による出動17件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ中の資源ごみの混入及び食品ロスを低減するため、ごみの減量化対策を強化する必要がある。 ・違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続して実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化に向けた具体的な対策を検討する。 ・委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。 ・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方の啓発を行う。 ・人口減少、少子高齢化、空家増加など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。

5.平成30年度事業実績・評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度予算)

22 生活環境課 3

事業名	42210	ごみ焼却処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	ごみ処理施設や火葬場の再整備をはじめとして、対応年数の長い公共施設の適正配置と施設整備を進め、生活利便性の向上と将来に負担をかけない市政を進めます。
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境		
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理		
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画			
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。
----	---------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	216,979	207,582	390,036			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(使用料・手数料等)	92,320	97,906	91,720			
一般財源	124,659	109,676	298,316			
個票枝番	主な事業内容					
	資源リサイクルセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	120,000	119,248	265,000		
	久々野クリーンセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	14,000	14,040	42,000		
	ごみ焼却施設の管理運営	82,979	74,294	83,036		
	資源リサイクルセンター廃棄物(木くず等)処理委託					
	久々野クリーンセンター廃棄物(焼却灰等)処理委託					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		575,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
784,384	680,836	680,836	290,800	
89,578	93,720	93,720	2,000	
694,806	587,116	587,116	288,800	
査定額	説明			
450,000	計画に基づく延命化措置			
76,400	計画に基づく延命化措置			
81,436				
70,000				
3,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの焼却処理及び施設の維持管理を適正に実施した。 資源リサイクルセンター焼却日数 340日間 久々野クリーンセンター焼却日数 145日間 ・設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、安全で適正なごみ焼却処理を継続して実施した。 ・焼却ごみ量に応じて2つの焼却施設の効率的な運転を行った。 ・老朽化している2つの焼却施設の延命化計画を策定した。 ・可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・延命化計画に従い、2つの焼却施設の延命化及び性能の維持を図り、安全で適正なごみ焼却処理を継続する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度予算)

事業名	42215	ごみ処理施設建設事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	ごみ処理施設や火葬場の再整備をはじめとして、対応年数の長い公共施設の適正配置と施設整備を進め、生活利便性の向上と将来に負担をかけない市政を進めます。
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境		
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理		
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画			
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・広く住民の理解を得てごみ処理施設建設を進めるため、必要な調査等を行う。
----	---------------------	----	--------------------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
			36,300			
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他()					
一般財源			36,300			
個票枝番	主な事業内容					
	新ごみ処理施設建設に向けた調査等		36,300			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		21,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
21,431	21,300	21,300	△ 15,000	
21,431	21,300	21,300	△ 15,000	
査定額	説明			
21,300	環境調査、影響分析			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度予算)

事業名	42220	ごみ埋立処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理	
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止などによる安全な埋立て処理を実施する。	概要	・廃棄物の埋立処理を実施する。 ・汚水処理施設を維持管理する。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	66,340	53,335	47,260			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(使用料・手数料等)	27,012	27,938	26,612			
一般財源	39,328	25,397	20,648			
個票枝番	主な事業内容					
	埋立処分地の管理運営					
	第1次埋立処分地跡地活用に向けた調査等					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		47,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
67,958	48,580	48,580	1,320	
25,704	26,612	26,612	0	
42,254	21,968	21,968	1,320	
査定額	説明			
46,580				
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業を実施した。(310日) 設備の点検整備及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。 第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査(安定化調査等)を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、臭気が抑えられ、ごみの飛散などが無い、適正な埋立処分を実施した。 近年、空家整理やリフォームの増加による粗大ごみの搬入が増加しており、焼却処理が追いつかず埋立地に仮置きしている粗大ごみが増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理を実施する。 可燃性粗大ごみの処理方法を検討する。 埋立処分地の延命化対策を検討する。 第1次埋立処分地の有効活用に向けた調査を継続し、今後の方針を検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H29完了
- H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H30完了
- H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成31年度予算)

事業名	42240 資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
			項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正管理	
			目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化を図る。 排出された粗大ごみ等を再使用し、ごみの減量化を図る。 資源の循環により循環型社会の形成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置に対し補助する。 粗大ごみ等のリフォーム及びびりフォーム製品フェアを開催する。 ごみの出し方と分別及び資源化の啓発並びに資源ごみの集団回収の奨励を行う。 資源ごみの収集運搬選別及び施設の適正な稼働を行う。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
家庭系ごみの資源化率	30%		30%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		160,778	145,911	164,678		
特定財源	国費()					
	県費(産業廃棄物立入検査事業費)	10	1	10		
	その他(物品売払収入等)	12,900	29,156	12,400		
一般財源		147,868	116,754	152,268		
個票枝番	主な事業内容					
	資源回収団体奨励金	12,000	7,846	11,000		
	資源リサイクルセンター施設の維持管理	13,578	12,392	14,578		
	廃棄物資源化の委託	130,700	122,023	134,200		
	不用品リフォーム	3,500	3,361	3,900		
	家庭用生ごみ堆肥化装置設置に対する助成	1,000	289	1,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		167,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
192,823	168,288	168,288	3,610	
2	10	10	0	
12,759	12,400	12,400	0	
180,062	155,878	155,878	3,610	
査定額	説明			
10,000				
14,088				
139,300				
3,900				
1,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置補助金を23件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施した。 リフォーム製品フェアを21回(支所開催含む)開催し、418個を販売した。 小型家電を収集し、処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)で受け入れた。(229 t) 資源回収事業での奨励金を78団体に交付した。 収集したごみを選別・圧縮・減容等により資源化するとともに、拠点集積所を適正に管理した。(51日開設)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。 びん等の容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源化率は維持されている。 リフォーム製品フェアの開催は高山地域及び全支所地域で行っており、一定の周知が図られている。 生ごみ堆肥化装置の設置促進のため、H29年度からの補助対象者の見直しを行った結果、対象者が増加した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化や資源化推進のため、家庭における生ごみ処理の促進、資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。 不燃ごみから鉄類などを選別し、資源物回収に努める。 民間企業による資源物回収量の把握に努める。 市内全地域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を継続して実施する。 プラ製容器包装や紙製容器包装の分別徹底を周知する。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり